

# 福祉サービス第三者評価結果報告書

2012 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町二丁目5番地4

評価機関名 株式会社生活構造研究所

認証評価機関番号

機構 02 — 022

電話番号 03-5275-7861

代表者氏名 代表取締役 塚田 修二

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	塚田修二	経営	H0303083
	②	青木裕美子	経営	H0701060
	③	芹澤智子	福祉	H0901034
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	わかたけかなえ保育園			
事業所連絡先	〒	174-0071		
	所在地	東京都板橋区常盤台3-12-15		
	TEL	03-5918-9868		
事業所代表者氏名	園長 山本 慎介			
契約日	2011 年 10 月 25 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2011 年 11 月 14 日			
利用者調査結果報告日	2011 年 12 月 19 日			
自己評価の調査票配付日	2011 年 11 月 14 日			
自己評価結果報告日	2011 年 12 月 19 日			
訪問調査日	2012 年 1 月 26 日			
評価合議日	2012 年 1 月 26 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査は11月14日から28日までの約2週間、園を利用している児童の保護者全員(世帯単位)を対象に実施しました。回収率をあげるため、園内にポスター掲示や園から保護者に調査協力の声かけをお願いしました。また、園は今年度新設されたため、園と協議のうえ、標準調査票(設問15に係る付問)の一部を除いて実施しています。 職員に対しては事前に第三者評価の目的や仕組み、自己評価の方法等について資料を作成し説明会を行いました。 訪問調査は、評価者が利用者調査・職員自己評価の結果を確認し事前に協議した上で実施しています。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2012 年 月 日

事業者代表者氏名

印

調査対象

わかたけかなえ保育園を利用している児童の保護者全員(世帯単位)を対象に実施しました。

調査方法

調査はアンケート形式で実施しました。調査票は園から保護者に手渡しで配布し、評価機関が保護者から直接郵送で回収しました。また、子どもが2人以上通園している世帯については、最年少児を対象に実施しました。

利用者総数

40

共通評価項目による調査対象者数

40

共通評価項目による調査の有効回答者数

30

利用者総数に対する回答者割合(%)

75.0

利用者調査全体のコメント

『毎日の保育(問1～8)』では、8項目すべてで肯定的な回答が8割以上となっており、全体的に満足度がとても高い結果を示しています。特に「食事・おやつなどメニューへの工夫(問1)」は、保護者の9割以上から評価を得ています。また、『子どもや保護者の尊重(問9～11)』でも、3項目すべてで肯定的な回答が8割以上と高い満足度を示しており、「保育園で子どもは大切にされている(問10)」では、保護者の9割以上が肯定的な回答をしています。『要望・意見や不満・トラブルへの対応(問12～14)』では、肯定的な回答の割合が「要望・不満を言いやすい(問12)」では7割、「要望・不満にきちんと対応している(問13)」では8割を占めています。「第三者委員への相談(問14)」では「知っている」と「知らない」がともに5割弱となっており、保護者によって認知度がわかれている様子がうかがえます。なお、最後に園に対する総合的な感想を尋ねたところ、大変満足、満足の両方をあわせると保護者の9割が満足していると回答しています。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	28	2	0	0
肯定的な回答をした保護者が9割以上と、満足度がとても高い結果を示しています。自由意見は6人(回答者の2割)の方から記述があり、バランスの良い食事と補食を適温で提供してくれる、毎日メニューが違いよく頑張っている等、評価する声が寄せられています。もう少し和食を出して増やしてほしいという声も一部みられます。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	26	3	1	0
回答のあった保護者の9割弱が肯定的な回答をしており、満足している様子がうかがえます。自由意見は8人(回答者の3割弱)の方から記述があり、あちこちの公園に歩いて連れていってくれる、晴れた日はほとんど外遊びに行ってくれる等、評価する声がある一方、園庭が屋上にしかないため室内遊びが多い、戸外遊びがやや不十分等、自由意見では保護者の評価に違いがみられます。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	26	0	0	4
肯定的な回答をした保護者が9割弱と、満足している様子がうかがえます。自由意見は2人(回答者の1割未満)の方から記述があり、土曜日に急をお願いした時も対応してくれた、嫌な顔をせずに対応してくれる等、園の対応を評価する声が寄せられています。				

4	子どもの体調変化への対応(処置・連絡)は、十分か	26	4	0	0
<p>回答のあった保護者の9割弱が肯定的な回答をしており、満足度が高い結果を示しています。  自由意見では5人(回答者の2割弱)の方が記述しています。自由意見では、ちょっとした変化で連絡をくれるので助かる、迅速な処置や発熱の際は別室で預かってくれる等園の対応を評価する声と、少しの発熱で帰ってくるように言われる、お迎え不要な症状の連絡が頻繁すぎる、職員がケガに気づかず報告がない等不満の声が寄せられています。</p>					
5	安全対策が十分取られていると思うか	26	4	0	0
<p>肯定的な回答をした保護者の割合が9割弱と満足度が高い結果を示しています。  自由意見は4人(回答者の1割強)の方から記述があり、新設されたばかりなので問題ない、色々な所に柵があるが安全かどうか分からない等の声が寄せられています。</p>					
6	行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	24	5	1	0
<p>「はい」と回答をした保護者が8割となっています。  自由意見は7人(回答者の2割強)の方が記述しています。ほとんどの行事は日程を考えてくれる、保護者会は土曜日や夕方遅めにしてほしい、行事がやや少ない、運動会の案内配布はもう少し早めにほしい等、さまざまな要望や意見が寄せられています。</p>					
7	子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	26	4	0	0
<p>回答のあった保護者の9割弱が肯定的な回答をしています。  自由意見は8人(回答者の3割弱)の方から寄せられています。とてもよく聞いてくれる、園での様子をよく教えてくれる、職員の話や連絡帳から成長の様子が垣間見れる等、園の対応を評価する声が寄せられています。また、送り迎え時に担任がいない時が多く相談したくてもできない、送り迎え時はバタバタしていて時間がとれない等の声もみられます。</p>					
8	保護者の考えを聞く姿勢があるか	25	4	0	1
<p>肯定的な回答をした保護者は8割強となっており、満足度が高い様子がうかがえます。  自由意見は7人(回答者の2割強)の方が記述しています。熱心に対応してくれる、震災後の対応等で各家庭で意見が異なるなか柔軟に対応してくれた等、職員の対応を評価する声がある一方、熱心な職員や自分の考えを前面に出しがちな職員がいる、若い職員が多いので相談しても満足を得られない、園長も一般的な話でまとめてしまう等の声もみられます。</p>					
9	サービス提供にあたって、利用者のプライバシーは守られているか	24	3	0	3
<p>肯定的な回答をした保護者の割合は8割と満足度が高い結果を示しています。  自由意見は3人(回答者の1割未満)の方から、今のところは大丈夫、他の保護者に自宅の電話番号を許可なく教えたことでその後の対応に少し困惑した等の声が寄せられています。</p>					
10	一人ひとりの子どもは大切にされていると思うか	28	2	0	0
<p>肯定的な回答をした保護者が9割以上を占めており、とても満足している様子がうかがえます。  自由意見は5人(回答者の2割弱)の方から、よく声をかけてもらい大切にされている、とてもかわいがってくれる等の声が多く寄せられています。</p>					

11. 職員の対応は丁寧か	26	4	0	0
肯定的な回答をした保護者は9割弱を占めており、満足度が高い結果を示しています。 自由意見は3人(回答者の1割)の方が記述しています。礼儀正しくフレンドリーで接しやすいという声のほか、職員によって対応に違いがある、職員の挨拶の声が小さい、職員には笑顔で子どもを迎えてほしい等の声も寄せられています。				
12. 要望や不満を事業所に言いやすいか	21	8	1	0
肯定的な回答をした保護者は7割となっています。 自由意見は2人(回答者の1割未満)の方から記述があり、連絡帳や意見箱がある、毎日会話もある、言いづらいことはトイレに設置された意見ボックスに入れることができる等の声も寄せられています。				
13. 利用者の要望や不満はきちんと対応されているか	24	4	0	2
肯定的な回答をした保護者の割合は8割と満足度が高い結果を示しています。 自由意見は3人(回答者の1割未満)の方から記述があり、最大限で対応してくれる、担任に直接伝えた事は今のところ対応してくれている、園長は一般的な回答におさめようとして対応がつまらない等の声も寄せられています。				
14. 第三者委員など外部の苦情窓口にも相談できることを知っているか	14	1	14	1
「知っている」と回答した保護者と「知らない」と回答した保護者の割合がともに5割弱となっており、保護者の認知度がわかれている様子がうかがえます。 自由意見は2人(回答者の1割未満)の方から記述があり、知らなかった、何かあれば利用したい等の声も寄せられています。				
15. 【過去1年以内に利用を開始し、利用前の説明を受けた方に】 サービス内容や利用方法の説明はわかりやすかったか	26	3	0	0
「利用前に保育内容などの説明があった」と回答した保護者は29名で、その約9割の保護者が「説明はわかりやすかった」と回答しています。 自由意見は4人(回答者の1割強)の方から記述があり、入園前の面接時に説明を聞き質問にも対応してくれた、ゆっくり時間をとって説明してくれた、電話のみの説明だったが丁寧でわかりやすかった、全体説明会があったが子どもも多く職員も緊張していたので少しわかりにくかった等さまざまな声も寄せられており、保護者によって説明の方法や場所等に違いがみられます。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 9/9
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float: right;">○非該当</span>
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <div style="text-align: right;">評点(〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float: right;">○非該当</span>
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <div style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</div>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float: right;">○非該当</span>
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えて いる <span style="float: right;">○非該当</span>

### カテゴリー1の講評

#### 基本理念、保育方針などを、ホームページ、園のしおりなどに掲載しています

園の基本理念、保育方針、保育目標を、園のホームページ、園のしおり、職員ガイドブックに掲載しています。基本理念については、文言だけでなく内容も丁寧に解説しており、だれもが共通の理解を得られるようにしています。利用者には入園説明会において説明し、職員には園の開設前に2日間の研修を行い周知を図りました。

#### 管理職の職務を周知し、実行しています

開園1年目の現在、管理職は園長ひとりです。管理職と一般職をつなぐ連絡・調整役として5名のコーディネーター(0歳、1歳、2歳、3～5歳の各クラス及び給食室から選出)を配置していますが、将来的には管理職として主任保育士を配置する予定です。管理職の職務については、職員ガイドブックに詳細に記載しており、研修を通して周知を図っています。園長は職員ガイドブックの作成や日々の業務、職員会議等を通じて、役割と責任を表明し、園をリードしています。

#### 案件に応じて適切に協議、決定し、周知しています

会議は、コーディネーター会議、クラス会議、職員会議のほか、給食会議、行事会議などがあります。コーディネーター会議で整理した課題をクラス会議で検討し、職員会議で報告しています。そのほかクラス会議では保育内容の打ち合わせを行い、また職員会議では各会議からの報告を行っています。職員会議の内容は職員会議録を通して欠席した職員や契約職員に周知しています。利用者には園だよりや保護者会を通じて伝えています。

2			カテゴリー2	
2			経営における社会的責任	
			サブカテゴリー1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			4/4	
評価項目1			評点(〇〇)	
社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			評点(〇〇)	
第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している		<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリー2(2-2)	
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
			5/7	
評価項目1			評点(〇〇)	
事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2			評点(〇●●)	
ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している				
評価	標準項目			
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している		<input type="radio"/> 非該当	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている		<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3			評点(〇〇)	
地域の関係機関との連携を図っている				
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当	

## カテゴリー2の講評

### 職員が守るべき法、規範、ルールなどについて職員ガイドブックに詳しく記載しています

職員ガイドブックでは、認可保育所に関する基本的な法制度、行政との関係、利用者との関係、職員の役割を記載しているほか、あいさつ、言葉遣い、身だしなみ等の行動規範、安全管理、個人情報などを丁寧に記載しています。開園前にこの職員ガイドブックを使用して2日間の研修を行い周知を図りました。職員ガイドブックは、契約職員も含めて一人一人に配布するとともに、ホームページからも閲覧できるようにしています。

### 地域に向けて事業所の機能を還元しています

地域に向けては、育児相談機関、簡易避難所としての役割をもち、緊急地震速報受信機やAEDの設置、赤ちゃんの駅の登録などを行っています。こうした機能について近隣の270世帯にチラシを配布して周知しました。町内会活動においては、町会長が第三者委員となっているため、毎月園便りをお渡しして報告しています。また、障がい児支援サークルに協力し、施設を提供しています。

### 関係機関との連携、協力を積極的に行っています

民生児童委員、行政、保育園、幼稚園による四者協議会への参加を通して地域の関係機関との連携を図っています。園長は月に1回、板橋区の52園による私立保育園の園長会議に参加し情報収集をしているほか、役員として園長会の活動にかかわっています。また、男性保育者連絡会の事務局も務め、情報の収集発信を積極的に行っています。



カテゴリ-3		
3	利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	○非該当
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	○非該当
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	○非該当
カテゴリ-3の講評		
<b>苦情処理について園のしおりに詳細に掲載しています</b> 苦情処理については、園のしおりに、「苦情申請窓口」の設置について記載し、第三者委員の設置や苦情解決の方法、解決に至らない場合の相談先などを明記しています。入園説明会においても苦情処理について説明しているほか、園内に意見箱を設置しています。利用者調査に寄せられた意見はすべてホームページ上に公開し、意見の一つひとつに園の考えや回答を掲載しています。ホームページを閲覧できない利用者には印刷物を提供したり、園だよりで知らせています。		
<b>連絡帳、意見箱、利用者調査等で利用者の意向を把握しています</b> 利用者の意向は、日々の保育や連絡帳、意見箱を通して把握しています。利用者からの意見を取り入れて保護者会の開催時間を遅くしました。また、開園1年目の平成23年度は第三者評価における利用者調査で利用者の意向を把握しました。ホームページに利用者から寄せられた自由意見とそれに対する保育園の見解を掲載し、さらにそれについての質問や感想も受け付けています。年に3回の保護者会、ないしは個人面談でも意向の把握に努めています。		
<b>保育事業について幅広く情報収集しています</b> 地域の福祉ニーズについては、見学者への説明に時間をかけて丁寧に行い、その中で把握するようにしています。保育事業の動向やニーズなどについては、園長が社会福祉士会、私立保育園園長会、男性保育者連絡会に参加しているほか、職員が区の保育士会や学習会に入っているなど、さまざまな活動を通して収集しています。収集した情報は必要に応じて共有しています。		

カテゴリ4		
4	計画の策定と着実な実行	
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況
		9/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		
評点(○○●)		
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		
評点(○○○●)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを図る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況 **4/4**

評価項目1  
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる 評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	○非該当

カテゴリ-4の講評

**今後は中長期計画の策定が期待されます**  
 平成23年度開園の当園はまだ開園から1年を経過していないため、今後の園児数や利用者動向の把握ができていないことから、中長期計画の策定には至っていません。初年度は、保育課程に基づいて、年間指導計画、行事計画、研修計画等を策定しました。次年度の計画は、園長と保育課程の係とで行う運営計画検討会で検討・策定します。

**計画は係を決めて推進しています**  
 計画の推進にあたっては、行事、保育課程、研修関係、避難訓練、健康診断などの係を決めて推進しています。担当者は具体的な企画を立案し、職員会議等で進捗状況を伝え、適時修正等を加えて実行しています。会議の記録や評価は会議録に残し、次年度以降の計画に反映するようにしています。

**利用者の安全確保に向けて計画的に取り組んでいます**  
 危機管理マニュアルを策定し、職員ガイドブックに掲載しています。避難訓練の係を配置し、1か月に1回避難消火訓練を実施しています。9月1日には災害伝言ダイヤルを使った大規模な訓練を行い、引取り訓練では8割以上の保護者の協力を得ました。警察、消防に直結する通報装置も設置しています。事故記録簿は、発生場所、発生状況、保育士・看護師の対応、保護者への対応、事故の原因、今後の対応と予防策等を記載し、職員室で閲覧できるようにしているほか、職員会議でも報告し、再発防止につなげています。

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(0000●)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員のやる気向上に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	○非該当

カテゴリ5の講評

開園に向けて新たに職員を採用しました

当園を運営する社会福祉法人はほかに2園の保育園を運営していますが、当園開園にあたっては新たに職員を採用しました。また、職員ガイドブックにおいて「わかたけかなえ保育園」の職員として求める役割・人材像を随所に記載しています。開園1年目の現在は、職員の評価制度もなく、職員の地位も設置していません。職員同士がフラットな関係で意見を交換しながら意識の共有を図り、新しい園を築いていこうとしています。

外部研修、園内研修で職員の質の向上を図っています

研修は、外部研修と園内研修があります。外部研修を受けた職員は園内研修会で報告するとともに研修報告書を作成し保育園や他の職員に還元しています。園内研修は、外部研修の報告会、新人研修、事例研究などの実践発表などを行っています。また、職員指導や自己研鑽も職員の育成につながるものとして奨励しています。職員の能力向上に向けては、職員配置に関する希望調査や面談を通じて把握しています。

無理のない勤務体制が職員のやる気向上につながっています

有給休暇の取得や代休の取得、時間外労働の是正、休憩時間の確保など、就業規則どおりの勤務実態となっています。園舎2階に職員の休憩室を設置し、職員は落ち着いて休憩時間を過ごすことができます。適正な労働時間や適性な勤務状態により、職員はゆとりをもって丁寧に子どもたちに向き合うことができているほか、自己研鑽にも励むことができ、やる気の向上にもつながっています。

7			カテゴリ-7	
情報の保護・共有				
サブカテゴリ-1(7-1)				
情報の保護・共有に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる			評点(000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している			評点(0000)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている			<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評				
<p><b>個人情報の保護、共有に取り組んでいます</b>            個人情報に関わる重要書類は所定のキャビネットに保管の上施錠し、鍵は園長、事務員が管理しています。パソコンの保育ソフトは使用者制限をしているほか、共有ファイルもアクセス制限をしています。研修、講習会資料や事故記録簿など、職員が必要な資料は職員室いつでも閲覧できるようにしています。</p> <p><b>個人情報の保護について定め、利用者と職員に周知しています</b>            個人情報の取り扱いについては、園規則に、個人情報の管理、文書の取り扱い、文書の保管を定め、園のしおりに掲載しています。連絡帳の作成、写真の販売、写真や映像の使用など個人情報に関わる項目については、利用者確認票に記載し、同意を得るようにしています。職員に向けては、職員ガイドブックに個人情報の項目を設けて、守秘義務や書類の取り扱いについて理解を図っています。</p>				

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

地域の一員として認知度が高まっています

地域貢献として、障がい児サークルに施設を提供していること、近隣住民のゴミ集積所として利用されていること、保育園のもつ機能などについて近隣270世帯にお知らせを配布したことなどにより、地域の一員として認知度が高まっています。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

係分担等により職員が積極的に役割を担っています

園内研修における報告会の実施や、係分担による業務の遂行など、さまざまな機会を通して職員が積極的に役割を担うようになり、責任感も増えています。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

ITを駆使して情報の提供・共有と業務の効率化を図っています

ホームページを充実させ、利用者のみならず入園希望者などさまざまな人に向けて情報を発信し、透明性の高い組織運営をしています。サービス提供のプロセスにおいては、ソフトウェアを活用し、情報の共有と業務の効率化が進んでいます。

サブカテゴリー4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

特別保育事業推進助成金を得ました

運営費以外の補助金や助成金の積極的な活用を目指していますが、平成23年度は、特別保育事業推進助成金を得て、保育室にパーティションを設置しました。

サブカテゴリー5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリーで評価される部分において改善傾向を示している

・カテゴリー3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

利用者の意向を把握しました

第三者評価の利用者調査を通して利用者の意向を把握することができました。利用者調査の結果は自由意見とそれに対する園の考え方も含めてすべてホームページで公表しています。



## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学が要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>園独自のウェブサイトが充実しています</p> <p>園のホームページの中で園の「理念」「保育方針」「入園のご案内」「事業内容」と詳しく記載されています。特に「事業内容」の中では、園舎の内部それぞれ保育室・廊下・屋上などの写真を掲載し、紹介すると共に保育への「思い」も事細かく記載されており、何を大切に保育に臨んでいるのかがとても分かる内容になっています。また、パソコンをお持ちでない方や苦手な方々にも伝えられるようにリーフレットや園のしおりも用意されています。</p> <p>園の情報を行政や関係機関等に提供しています</p> <p>板橋区が発行している冊子に、園の情報を提供しています。園長会が運営するウェブサイト「板橋区内保育園パーフェクトデータ」にも記載されていて、誰でも園の情報が閲覧できるような仕組みができています。</p> <p>見学者の対応は、丁寧に行っています</p> <p>問い合わせ、見学者には園長が直接対応し、特に見学には相手の要望を最優先にし、個別に園舎の説明をしながら園の保育方針が伝えられるように1時間程度かけて丁寧に行われています。</p>		
サブカテゴリ2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 <b>5/5</b>
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		<b>評点(〇〇)・非該当1</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input checked="" type="radio"/> 非該当

**サブカテゴリー2の講評**

**サービス開始にあたり説明が行われています**  
 合同入園説明会が行われており、その時にリーフレットを基に園の理念・方針をきちんと説明しています。ホームページでも園の様子が詳細に分かりやすく記載されています。誰もがいつでも園の情報を得られる工夫がされています。

**サービス開始の時に、保護者からの同意を得ています**

利用者確認票で「理念、保育方針」「園規則」「延長保育実施要綱」「保育時間」「児童の感染症」「児童の怪我」「連絡網の作成」「写真の販売」「写真や映像の使用」などについて詳細に分かりやすく保護者に確認しています。一つ一つ確認する事で入園後のトラブルが防げると同時に、園の方針を保護者に理解してもらえ内容となっています。

**園独自の書式で個々の子どもたちの状況を把握しています**

入園時には、園独自の「児童個別票」や「入園前面談確認票」の中で個々の子どもの状況・家族の状況が詳細に把握できる形式になっています。それに基づいて「慣れ保育」の計画が個別に作成され、子どもたちが無理なく保育園に慣れることができるような心配りが感じられます。また別に、0歳児はより細やかな把握をする為に「0歳児入園の記録」があり、子どもの状況に合わせて、子どもが安心して過ごせるように心配りが感じられます。

**サブカテゴリー3**

**3** 個別状況に応じた計画策定・記録 サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況 **12/12**

<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>
---	--	------------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直ししている	○非該当
●あり ○なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している	○非該当

<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしきみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>
---	--	---------------

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当

**サブカテゴリー3の講評**

**保育計画や記録はパソコンの保育園用ソフトの中で管理されています**  
 保育課程に基づき作成された「年間指導計画」「各月指導計画」「週の計画」「個別指導計画」日々の「引き継ぎ簿」は、パソコンで管理されています。パソコンは各クラス、園長、調理室、看護師等それぞれの部署にあり、いつでも入力が出来、閲覧も出来るようになっています。他のクラスの状況や個々の子どもの状況も共有しやすいようになっています。その事で、事務仕事を効率よく行い、子どもたちと関わる時間を確保できるようにしています。

**保育計画は、期・月ごとに見直しを行っています**  
 指導計画は、園の定める期・月ごとに、保護者の状況や子どもの状態を踏まえて見直しが行われています。ただ、まだ開設して1年がたっており保育士同士がお互いの「保育」に関しての意見を出し合い作りあげていく過程にあるように見られます。園長が保育の指導はせず、保育士が自ら考え作り出していく方針とのことで、各月の計画を作成する時に担任が見直しを行っています。来年度に向けては、全体会議で見直し・検討される計画があります。開園初年度のこの見直し・検討の機会に保育内容を職員全体で話し込みをされる事が望まれます。

**パソコン保育用ソフトでさまざまな記録や伝達事項を確認しています**  
 保育園用ソフトの統一書式を使用して、園内の各パソコンから確認をし、職員の情報の共有を行っています。ただし、日々の引き継ぎに関しては、利用者調査にもありましたが、怪我やその日の子どもの変化などの伝達事項が上手く伝わっていないという声もあります。職員の方からもパソコンでなくメモ用紙や口頭での伝達になりがちであるという意見もあるので、今後の具体的な改善策が望まれます。

サブカテゴリ-5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
◎あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
◎あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	○非該当	
◎あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
子どものプライバシーを含め個人情報保護への取り組みが構築されています 個人情報の取り扱いについては、園のしおりや職員ガイドブックに記載し、職員間で確認しています。保護者の方々にも、入園の際、利用者確認表で同意を得ています。			
子どものプライバシーに配慮した保育を心がけています 3～5歳児用のトイレには、扉のないパーテーションで危険の無いように目隠しがされています。また、屋上のトイレにもカーテンを設置し周りに見えないような工夫がされています。ただ、乳児の保育室でのオムツ換えコーナーやパンツ履きコーナーに、つい立や目隠しになるような物がなく、今後の改善が期待されます。			
子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重しています 職員ガイドブックの中に「子どもの叱り方」が明記されています。子どもの気持ちを大切に、子どもの気持ちを傷つける事の無いように対応するように職員が共通認識のもとで保育されている事が伺われます。また、園長は社会福祉士として虐待防止への見識をもっているため、板橋区の虐待防止マニュアルに沿って、事例ごとに各関係機関と連携が取れるように対応を指示したり、ケース検討できる仕組みがあります。今後は、虐待防止マニュアルを職員全員に周知徹底していくことが望まれます。			

## サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

## 評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

#### サブカテゴリ6の講評

##### 職員ガイドブックが充実した内容となっています

園の開設にあたって、園長が自ら作成した「職員ガイドブック」に職員としての心得が詳細に記載されています。職員全員に配布され、会議の時には、必ず持参して共通認識を持てるようにしています。また、開設して1年が経っておらず、今後「職員ガイドブック」の内容が全職員に浸透し、保育に活かされる事が期待されます。

##### 職員が業務の手順や内容を協議・確認する際に、職員ガイドブックが活用されています

クラス会議・コーディネーター会議・職員会議等で業務の手順や内容等を報告したり協議する時には、各自が職員ガイドブックを持参し、いつでも参照し、確認できるようにしています。

##### 職員ガイドブックの見直しを定期的に行います

職員ガイドブックは、毎年1月に運営計画検討会で確認し見直しが行われる事になっています。開設したばかりの園なので、今後検討を重ねる事でより実践的なものが盛り込まれ、さらに内容が充実していくことが望まれます。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		36 / 36	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
評価項目1の講評			
<p>職員は保育園用ソフトの統一書式で個別配慮を共有しています                      保育園用ソフトの統一書式の中に個別配慮も盛り込まれて、毎月各クラスで見直し検討がされています。どの職員も閲覧する事が出来、子どもたちの現在の様子、今後の課題を共有できるシステムがあります。</p> <p>子どもたちが動きやすい環境設定がされています                      保育室や園内設備は、生活導線を最優先にして設定されています。子どもたちが快適に過ごせる工夫が随所に見られます。</p> <p>特別な配慮が必要な子どもへの支援も行われています                      板橋区が派遣する巡回指導が月に1回行われています。児童が療育を受けている専門機関に職員が見学に行き、そこで指導員と情報交換をした事を園で報告し、日々の保育に活かしています。今後は、記録を整備し職員全体に周知徹底できる仕組み作りが期待されます。</p>			
2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

0歳児から5歳児まで、園独自の連絡帳が活用されています

0歳児・1歳児・2～5歳児とそれぞれに年齢に合わせた記入項目の連絡帳があり、一人ひとりの日々の家庭や園での生活の様子が詳細に記入できるようになっています。日々の変化を把握でき、家庭でも保育園での様子が分かりやすいものとなっています。連絡帳のやり取りで、家庭との信頼関係も築けるような工夫が感じられます。

一人ひとりに合わせた生活が送れる環境設定がされています

年齢に応じて、食事・睡眠・あそびの場が確保され、一人ひとりの生活リズムが大切にされている事が伺われます。連絡帳を通して日々の子どもの状態を把握し、園での生活は無理なく過ごせるように工夫されている様子が伺われます。

その日の連絡事項は、連絡帳に記載しています

連絡帳だけでなく、担任が会えない時は、当番の職員に口頭で伝言したり、大きな怪我などの場合は担任が残り直接保護者に説明したりしています。利用者調査の中に、一部連絡がなかったとの声がみられるので、今後そのような事がないようにする為の再認識が望まれます。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

園の保育課程に基づき保育が行われています

園の保育目標から、各年齢の発達に即した「保育課程」があり、それに基づき年間指導計画・月の指導計画・週の計画が作成され、保育が実施されています。「保育課程」がしっかりあることで各年齢の計画が立てやすくなっています。また開設から1年が経過していないので、今後実際に行っていく中で保育課程の見直しを年度末などに行うことで、より一層保育の質の向上につながる事が期待されます。

子どもたちの自主性・自発性を大切に環境作りを心がけています

特定のプログラムを設定せずに、広く浅くの体験・見聞することを大切にしています。乳児の室内設定では、好きな遊びを自分で持ってきてあそべる環境になっています。幼児の方は、3～5歳児の縦割りの2クラスを予定していますが、今年度は5歳1人・4歳1人・3歳12人でのスタートなので1クラスとしての活動になっています。環境設定がまだ模索中のように見受けられました。今後、各年齢の児童数が揃った時に自主的にあそべるコーナー作り等が期待されます。

園庭はありませんが、散歩には頻繁に出かけ戸外遊びを楽しんでいます

園庭はありませんが、天気がよく、行事のない時には近くの公園等によく散歩に出かけています。しかし、今回の利用者調査の中で「外遊びが少ない」という声がみられたので、日頃から外遊びに出かけていることをうまく保護者の方々に伝えていないことを反省し、玄関の所に園周辺の公園マップなどを掲示して活動を理解していただけるように、早速改善を図っています。



4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当

評価項目4の講評

各行事には行事企画書が作成されています

毎月のお誕生会のときに、さまざまな文化・習俗をモチーフにしたイベントを行っています。運動会や畑作業を行う中で子ども同士が協力し達成感を味わえるようにしています。また、行事は楽しめる事を大切に、過密スケジュールで行事の数をこなしたり、高度な内容になりすぎないようにしています。その事が日々の保育の中で子どもたちのあそびが充実したものになるように工夫されています。

行事計画は、年間予定表に盛り込み保護者に伝えています

年間行事について年間予定表で保護者に事前にお知らせしています。また、保護者が参加できる行事も年度当初に伝え、参加しやすいように工夫しています。「運動会が盛り上がりに欠けていた」という声が利用者調査の中に一部みられましたが、今年度は5歳児が1人で会場も初めての場所だったことや、「運動会」のイメージも保護者によって差があることなどを考慮すると、プログラムを考える上で難しい面があったようです。年度を重ねる事で創意工夫されることが期待されます。

今後、地域交流の手段として行事を行うように検討しています

開園したばかりということで、園が主体となって地域と交流する行事はまだ行われていませんが、今後少しずつ交流を増やしながら検討し、行事の実施につながることを期待されます。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 年齢の違う子どもとも楽しく遊べるような配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	○非該当
●あり ○なし	4. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	○非該当

評価項目5の講評

保育室が落ち着いた雰囲気です

園長が設計段階から関わったとの事で、子どもたちが少しでも落ち着く空間になるように随所に工夫がされています。ロッカーや収納棚を空いた空間にうまく設置したり、窓を有効に使って空間に広がりをもせる等、保育室を広く確保するようなさまざまな工夫がされています。必要以上に飾り立てをせず、落ち着いた空間が作りられています。

延長保育では、くつろげる雰囲気を大切にしています

延長保育は、現在のところ、人数が5～6名で1歳児室を使って保育をしています。ちょっと横になれるソファやくつろげるスペースがあり、夕方子どもたちも疲れている時にのんびりと過ごせる配慮がされています。

保育園用ソフトでの引き継ぎを行っています

保育園用ソフトの中に、引き継ぎ簿もあり活用しています。ただ、まだ職員間で、浸透していなく子ども一人ひとりの連絡事項は、口頭による引き継ぎ伝達を行っています。伝達漏れがあるようなので、今後の改善策を期待します。

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作り配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

園独自の献立が作成されています

栄養価のみならず、子どもの発達、季節感、文化的背景などを考慮しながら献立を作成しています。毎日違うメニューになっており、おやつもほぼ手作りの物を提供しています。子どもたちの味覚が発達する時期なので十分に配慮された食事が提供されています。

各年齢に応じて細やかな食事計画が作成されています

各年齢にあわせて「咀嚼状況」や発達段階に合わせて、食材の刻み方なども細かく配慮されています。また、食事計画の中には、食べさせ方・自分で食べるようになった時のスプーンの使い方・お皿に手を添えて食べられる目安やお箸への移行の目安など、とても分かりやすく計画されており、保育にいかされています。食育やマナーなどにも配慮が行き届いている事が伺われます。食物アレルギーのある児童は、現在は居ませんが、園で対応できる仕組みはあります。

食事を楽しくする工夫がされています

職員が子どもとともに食事をとり、美味しさや楽しさを共有の出来るようにしています。盛り付けは、クラスで行い個々に合った量を盛り付けし嫌いな物も少しずつ食べられるように配慮しています。その事で子どもたちにとって給食が楽しいものになるよう工夫しています。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当

評価項目7の講評

**交通安全指導や手洗いで予防を習慣化しています**

散歩の機会がとて多く、その度に交通ルールを伝えています。感染予防から、手洗いの習慣化を指導をしています。蚊対策として、園独自にハッカ水を利用したり、消毒に関しては、クローラ水を使用して、感染防止に努めています。

**園内で感染の恐れがある場合は速やかに情報提供を行っています**

園内で感染の恐れがある病気等が発生した場合には、メールや掲示板を通じて情報提供を行っています。早期発見・早期治療を促しています。その他に毎月の保健便りの中にタイムリーな情報として対処方法なども記載しています。また、保育園が集団の場である事、早期に発見し、他の児童に感染させないための協力、理解も求めています。

**医療機関との連携を取っています**

保護者の意向に沿って、児童に投薬を希望される場合には、医療機関より「与薬指示書」を発行してもらい、それに従って与薬を行っています。乳幼児突然死症候群に関しては、保健だよりなどで情報提供を行っています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会を設け反映させている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当

評価項目8の講評

保護者の状況に合わせた柔軟な対応をしています

保護者の育児方針や就労等の事情を把握し、保育園用ソフトや職員会議などで職員が情報の共有をした上でそれらに配慮し柔軟な対応を心がけています。

保護者との信頼関係を構築するために連絡帳を活用しています

勤務シフトの関係で担任が日々会うことが出来ないで、日々の子どもの様子を伝える事や保護者の気持ちに答えることは、連絡帳を活用し丁寧な対応を心がけています。また、年に1回は個人面談を行い、子どもの状況を伝え保護者と共有するようにしています。保護者会では、子どもの発達や育児についての資料を配布し共通認識が得られるように心がけています。

保護者同士が交流を持てる場を設けています

保護者会の中で、意見交換をする時間を設けたり、給食展示試食会を開き栄養士が対応したり、餅つきでは保護者の皆さんに協力していただきながら、保護者同士の交流が出来るようにしています。

9 評価項目9

地域のニーズに即した子育て支援を実施している

評点(〇〇)・非該当1

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域における在宅子育て家庭のニーズに応じた子育て支援事業を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域における在宅子育て家庭同士が交流できるような支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 提供している子育て支援事業の評価・見直しをしている	<input checked="" type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

子育て支援では、在宅子育て家庭のニーズに応じています

板橋区が掲げる「赤ちゃんの駅」という取り組みの指定を受けて行っています。外出途中でオムツ換えや授乳の場所を提供できるようにしていますが、実際はまだ利用者はなく、今後地域の子育て中の方々に知っていただけるような工夫が期待されます。

地域の中で子育て支援施設として役割を果たし、さまざまな活動が展開されています

園では1月・2月の日曜日に園舎を会場として提供し、在宅で子育てをする親が不安や悩み、ストレスなどを専門のファシリテーターを交えて語り合いながら、孤立感を解消し自分らしい子育てが出来るようになるための親支援プログラムの実施を支援しています。また、障がい児支援サークルにも会場を提供しています。このように地域のなかで園が子育て支援施設としての役割を果たし、さまざまな活動が広がっています。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	3-1-1	利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)
タイトル①	利用者調査に寄せられた自由意見の一つひとつ回答しホームページ上で公開しています	
内容①	第三者評価の利用者調査の結果をホームページ上で公開しています。自由回答に寄せられた意見は園の運営に賛同する意見のみならず、批判的な意見も含めてすべて公開し、その一つひとつに園の考え方、運営の在り方を回答として掲載しています。利用者が疑問に感じていることや知りたいことを公に発信することで、すべての利用者が園の対応を知ることができ、また利用を検討している保護者にとっても貴重な情報となっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-2-2	職員のやる気向上に取り組んでいる
タイトル②	職員が保育に集中し、働きやすい環境づくりに力を入れています	
内容②	園長は職員に対して専門職としての自覚をもって、職員一人ひとりが職務・職責を全うすることを求めています。それを実現するために、園では職員の時間や労力をできるだけ子どもたちの保育サービスに費やすことができるように、保育園用ソフトを導入して職員による事務作業の効率化を図ったり、園舎2階に職員用休憩室を設置して、職員が落ち着いて休憩時間を過ごすことができる環境を整備しています。また、職員が有給休暇や代休を取得しやすいようにゆとりをもった職員配置を行う等、職員が保育に集中し、働きやすい環境づくりに力をいれています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-7	子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている
タイトル③	園独自の衛生管理を行っています	
内容③	感染防止に塩素系の薬品ではなく、安全安心の為に「クローラ水(電解次亜水)」を毎日看護師が作り、各クラスに消毒用として配布し、嘔吐の後の消毒や玩具・室内清掃の際に使用しています。また、玄関ホールに虫除け装置を設置し、蚊が園舎内に入らないような対策がされています。散歩車や窓には虫除け防虫剤を設置したり、ハッカ水を希釈したものを園で作製、蚊よけスプレーとして子どもたちに散布するなど蚊対策が行われています。少しでも、子どもたちに快適な環境を提供する為の工夫がみられます。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園独自で献立を作成し栄養管理を行うとともに、献立表を工夫して保護者にも食への意識啓発をしています
	内容	栄養士が栄養価バランスのみならず、子どもの発達、季節感、文化的な背景などを考慮しながら、園独自で献立を作成しています。一年間を通して同じ献立の無いように工夫されています。おやつ・昼食・夕方の補食は、ほぼ手作りの物を適温で提供しています。保護者への献立表も「黄」熱と力になるもの・「赤」血や肉や骨になるもの・「緑」体の調子を整えるもの等食材を分けて表示して、食への意識が持てるように工夫しています。「食」を通して、子どもたちの発達を大切にしている事が分かります。
2	タイトル	豊富な情報提供が園への理解を深め、透明な組織運営につながっています
	内容	園では、情報の発信、開示、共有を積極的に行っています。利用者に向けての園のしおりでは、基本理念等の園のビジョンはもちろんのこと、園規則、保育課程を掲載しています。ホームページにおいては利用者調査の結果を公表するなど情報の開示に努めています。また、職員に向けての職員ガイドブックは120頁におよび、認可保育園の役割から始まり保育運営の考え方、職員の役割などを記載しています。こうした豊富な情報発信が園への理解を深め、透明な組織運営につながっているといえます。
3	タイトル	「子どものため」という言葉で保護者に無理を強いない、負担が偏らない保育を実践しています
	内容	園は「子どものため」という言葉を安易に使わないことを心がけ、保護者に無理を強いない、負担が偏らない保育を実践しています。冷凍母乳も母体に負担がかかることを説明し希望者のみ対応したり、園で使用する紙オムツや哺乳瓶等は家庭と同じものを園で用意する等、仕事と育児に追われる保護者に負担が偏らないように園が支援できる場所は負担を分かち合うようにしています。これは園の基本理念のひとつ「共に育む」に合致しており、「子ども・家庭・施設・職員・地域が苦勞を分け合い喜びを分け合う関係を作る」という考えに基づいています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	子どもたちが自主的、自発的に遊びが展開できる環境設定の工夫が期待されます
	内容	保育園全体が、子どもたちの生活動線を重視し設計されています。生活をする上で快適に子どもたちが過ごせるような工夫が随所に見られます。0歳児室・1歳児室では、遊びの面でも子どもたちが自分の好きな遊びができるコーナーが作られていました。ただ、2歳児室・3～5歳児室では、子どもたちが自主的に遊びたい時に遊具を出せるような工夫が少し足りないように思われます。今後、個々の遊びが保障されるコーナー作りや遊びを通して子どもたちが友だちとの自然な関わりを持ち、その関係性を発展させることができるような環境設定が期待されます。
2	タイトル	職員の意識の共有化が課題です
	内容	平成23年度に開園した当園は、全ての職員を新たに採用してスタートを切りましたが、開園から間もないため、職員間の意識の共有化が十分とはいえません。職員調査からも職員間の意思の共有や協力体制について課題が寄せられています。今後は職員一人ひとりの資質の向上も含め、職員間の知識や技術、意識の共有を図り、職員が一体となって園の運営に臨むことが期待されます。
3	タイトル	スーパーバイザー的な役割を担う職員を早急に育成することが必要とされます
	内容	経験値に基づく固定観念に捉われず、利用者の多様な価値観やライフスタイルを理解した独自の保育手法から積み上げるという方針に基づき、あえて年齢・経験・前歴等がさまざまな職員を新規に採用しています。そのため、保育の基本的なサービスに支障はないものの、職員同士の知識・技術の認識、意思疎通等試行錯誤に時間を要している様子がうかがえます。子どもの育ちの時間も考慮し、保育現場で一日も早く園の基本理念等に基づくサービスを具体的に実践するためには、スーパーバイザー的な役割を担う職員を早急に育成することが必要とされます。